

How

2005 VOL. **23** 男女共同参画社会をめざす **情報紙**

「もう限界です」…

お母さん、育児を1人で抱え込まないで



地域の子育て学習会に参加した由美さんは、講師の話が終わるのを待ちかねて手をあげ、「質問ではありません。いまの私の状況を聞いていただきたくて」と、話し始めました。

「夫と3歳と0歳の子どもの4人家族なんですが、仕事が忙しい夫はほとんど家にいない状態で、私が1人で子育てをしています。24時間子どもとだけ過ごしていると、もう、息がつまりそうです。できるだけ外に出ようと、公園に行ったり、公的施設での子育て学級などに参加するのですが、私自身のストレス発散にはならずで…。

仕事から帰ってきた夫は、『おれだって仕事でくたくたなんだ』ととりあってくれません。親に相談すると、両方の親から『母親でしょ、しっかりしなさい!』と言われます。もう限界です」。

率直な発言に会場からは共感の声も。「夫や両親の言葉に傷ついたわね。子どもが幼い頃、私も同じような体験をしたので、あなたのいらいらや不安はよくわかるわ。いま、私たちは地域の中で育児サークルをやっているんですよ。まずはお母さんが充実して楽しく暮らさなきゃ、子どもたちだって幸せになれません。みんなで気持ちを分かち合いましょうよ。一度私たちのサークルに参加してみませんか?」。

この2人が講座終了後に連絡先を交換したのは言うまでもありません。

